

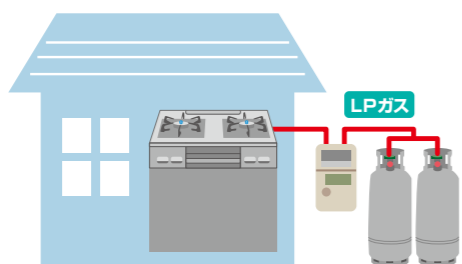
災害に強い LPガスは復旧が早い！

災害時には「安全」に「すぐ使える」ことがとても重要です。

1 「LPガス」と「都市ガス」の違い。

LPガス

特徴
個別供給

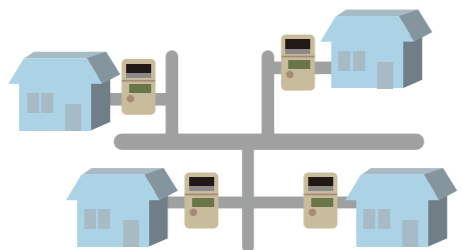


- 1戸1戸販売店が個別点検、配管が短く点検が容易

💡 1戸単位で点検・復旧が可能なので、復旧が早い！

都市ガス

特徴
ネットワーク供給型



- 都市ガスは各戸の器具点検ガス栓閉止確認が必要なので時間がかかる
- 都市ガスは、災害などで地下埋設導管が損傷すると被害が広範囲に及び、数百戸、数千戸単位で安全確認が必要のため、復旧までに長い日数がかかる。

2 東日本大震災時の復旧スピードは？ LPガスと他のエネルギー。

東日本大震災時の復旧状況



※グラフは経済産業省資源エネルギー庁「東日本大震災に関する調査」より引用

LPガスは、地震などの災害によってガスが使えなくなった状態からの復旧の早さに定評があります。平成30年6月18日に大阪府内で発生した震度6弱の地震ではLPガスは翌日19日に、都市ガスは24日に全面復旧し他のエネルギーに比べいち早く**全面復旧**しました。

LPガスってどんなガス？

一般家庭で使われる50kg容器には、約2ヶ月分(4家族の場合)のLPガスが入っています。

LPガスとは「Liquefied Petroleum Gas」の略で、日本語で液化石油ガス、通常プロパンガスとされています。容器(ボンベ)には、気体(ガス)の1/250の体積になる液体の状態が入っているので効率的に貯蔵・配送できます。



災害の備え LPガスは使いながら備蓄できる！

1 エネルギーにも「ローリングストック」という考え方を！

ローリングストックのポイントは「日常生活で消費しながら備蓄することです。」



LPガスはガスを使いながら備蓄できるエネルギーです。

LPガスは容器に概ね1~2カ月分程度のLPガスが残るようお届けしています。災害などによりLPガスの配送がストップしても、ガス設備が破損していなければ普段通りガスが使えます。また、LPガスを日頃から使用していれば、法令による定期点検を行うので、いざという時にガスが使用できないというリスクを避けることができます。つまり常時使用していることが防災対策に繋がるということです。

2 避難所や病院などのエネルギーにLPガスは最適です。

ガス発電機

点検・復旧が早く、使いながら備蓄できるLPガスは、避難所や病院などのエネルギーとして最適です。

💡 ガス発電機を備えておけば、停電時にも対応可能です。

地震対策助成金

避難場所等に指定されている神奈川県内の公共施設等で新たにLPガス設備を設置する場合に費用の一部を助成します。詳しくは(公社)神奈川県LPガス協会ホームページまで <http://www.kanagawalpg.or.jp/>